

被爆者援護連帯募金旬間（11月20日～12月10日）

6. 9行動で被爆者募金呼びかけ

熊本県原水協は、12月6日（金）と9日（月）の6.9行動で、被爆者援護連帯募金旬間に合わせて、下通アーケードパルコ前で「ヒバクシャ国際署名」と募金の訴えを行いました。行動には、新婦人、民商、民医連、共産党、年金者組合、うたごえから2日間で28名が参加し、それぞれ30分の行動で署名163筆と10,002円の募金が寄せられました。

畠田理事長が、「来年は、被爆から75年・2020年核不拡散条約（NPT）再検討会議が国連で開催されます。そして、アメリカの中心のニューヨークで原水爆禁止世界大会が初めて開催されます。世界中で取り組まれているヒバクシャ国際署名に、核廃絶の願いを託してください。」とハンドマイクで呼びかけると、高校生が近寄り「政治に興味があります。」と署名に応じてくれました。また、高齢の男性は「気持ちばかり」と募金箱にお金を入れてくれました。

